

# INDIYO レッグカウンター 施工・取扱説明書

必ずお読みください

## 施工される方へ

ご使用前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業担当者まですぐにご連絡ください。  
施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

2010.12

南海プライウッド株式会社

本社：〒760-0067 香川県高松市松福町1丁目15番10号

北海道・東北営業グループ/TEL (087) 825-3632 FAX (087) 825-3695  
 関東営業グループ/TEL (087) 825-3621 FAX (087) 825-3645  
 中部営業グループ/TEL (087) 825-3622 FAX (087) 825-3646  
 近畿営業グループ/TEL (087) 825-3623 FAX (087) 825-3647  
 中四国営業グループ/TEL (087) 825-3624 FAX (087) 825-3648  
 九州営業グループ/TEL (087) 825-3625 FAX (087) 825-3649  
 特需営業グループ/TEL (087) 825-3662 FAX (087) 825-3669  
 テクノ営業グループ/TEL (087) 825-3657 FAX (087) 825-3659

## ⚠️ ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。  
本書に従わず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

### ⚠️ 施工前の確認

- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避けてください。
- 金具を取り付ける壁面の下地をご確認ください（ビス固定が必要なため）。
- 施工する床面、壁面の水平・垂直がでていることをご確認ください。

### ⚠️ 施工上のご注意

- 必ずカウンター天板と脚部材を付属のダボおよび接着材で固定してください。
- 必ず壁もしくは床面に固定してください。壁には下地材を入れて木ねじで固定してください。
- カウンターの取り付けは、水平・垂直とねじれがないかを必ずご確認ください。

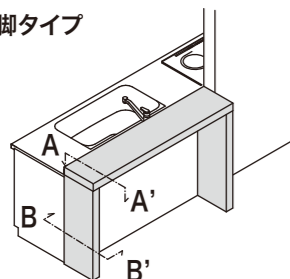
### ⚠️ 安全上のご注意

- 重量がありますので、注意して施工・運搬を行なってください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、接着剤を使用する場合は十分な換気を心がけてください。
- 引渡し前に工事管理者が必ず点検を行ない、不具合の箇所を補修してください。

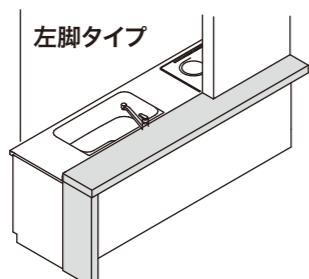
### ⚠️ 設計上のご注意

- レッグカウンターは造作下地に載せる施工となります。造作壁をご準備ください。
- 下地・クロス貼り仕上げの前にカウンターの施工となります。ご注意ください。
- 防火壁・構造壁の場合のカウンター切り欠きは寸法を考慮して行なってください。
- カウンター天板・脚部材ともに裏面まで化粧がされた状態で出荷されます。
- カウンター天板・脚部材の固定は、ダボと接着剤の併用での固定となります。
- カウンター形状は3タイプあります。発注の際にどのタイプかをご指示ください。

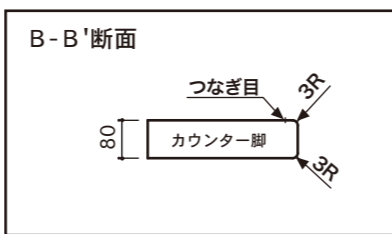
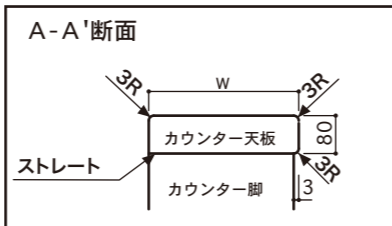
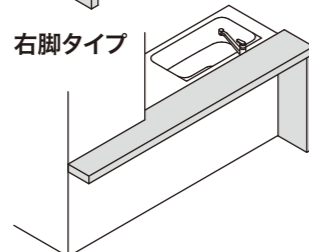
両脚タイプ



左脚タイプ



右脚タイプ



## お施主様へ

### ⚠️ 使用上のご注意

沸騰した鍋・やかんや油鍋等は直接カウンター上に置かないでください。  
 火のついたタバコを直接カウンターの上に放置しないでください。  
 ドライヤーやストーブ等の熱をカウンターの表面に直接当てないでください。  
 カウンターの上で直接、包丁やカッターナイフ等を使用しないでください。  
 カウンター表面に硬い物を落としたり、ぶつけたりしないでください。



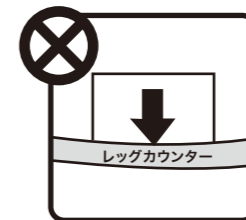
浴室・シャワールーム付近等の湿気が多い場所や、屋外への設置は避けてください。



カウンターに腰掛けたり、登ったり、もたれたり、体重をかけたりしないでください。



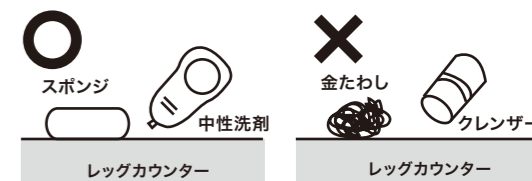
過度なたわみを防ぐため重量物を載せないでください。



※カウンター固定にブラケットを使用している場合のみ

### お手入れについて

カウンターの汚れ落としは、クレンザーや金属製のたわし類は使用せず、必ず中性洗剤とスポンジを使用してください。



## 部材・部品の確認

※梱包は「カウンター天板」「カウンター脚」の2梱包（両脚タイプは3梱包）となります。

### カウンター天板梱包内容

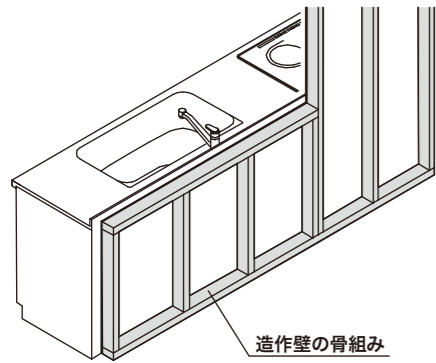
名称	図・数量
天板	1枚
施工・取扱説明書	1枚

### カウンター脚梱包内容

名称	図・数量	名称	図・数量
脚 (左右勝手有)		接着剤	
	両脚タイプ 2本 右脚・左脚タイプ 1本		
角材		ダボ	
	両脚タイプ 4枚 右脚・左脚タイプ 2枚		

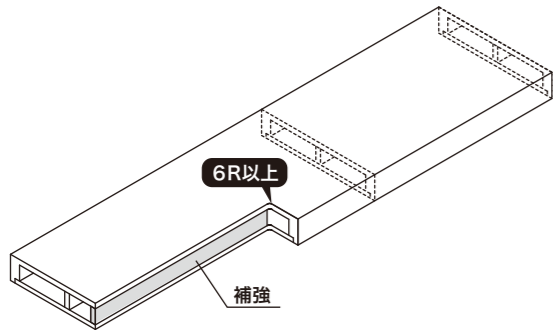
# 施工手順

## 1 施工の準備



キッチン裏側の造作壁の骨組みまで仕上げてください。  
※ダイニング側のボードおよびクロス貼り前にカウンターの施工を行なってください。

現場でカウンターを切り欠く場合のみこの手順が必要です。



①角部分に必ず6R以上の丸みを持たせてください。

丸みを持たせず直角に加工した場合、ひび割れが発生する可能性が高くなります。

②内部が中空構造になっているため、カット部の内部に補強を入れてください。

## 2 カウンター天板と脚の固定

表面キズ防止の為、梱包材などの緩衝材を床面に保護材として敷き、その上にカウンター天板の表面を下にして置いてください。カウンター天板裏面とカウンター脚を、同梱ダボにて5箇所固定してください。

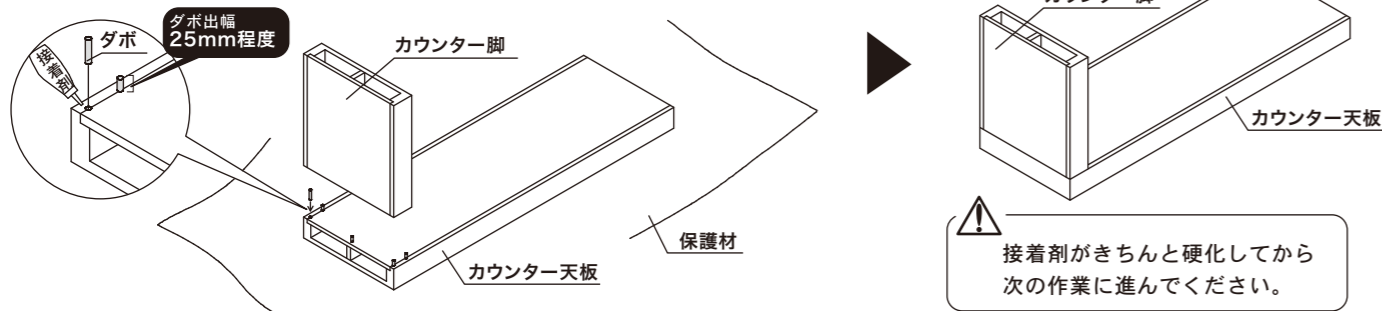
※ダボには必ず同梱の接着剤を注入してください。接着剤の塗布量はダボ穴の入口がふさがれる程度(豆粒程度)が適量です。

接着剤を奥まで入れすぎると、ダボが穴に入らない場合があります。また、カウンター天板及び脚のふくれや割れ等の原因にもなりますので、塗布量に充分ご注意ください。

※カウンター天板もしくは脚側にダボを差し込んだ際、ダボの出幅が25mm程度になるまでしっかりと差し込んでください。

※しっかりと押し込みカウンター天板と脚部材を接合してください。

※はみ出した接着剤は固まる前に拭き取ってください。

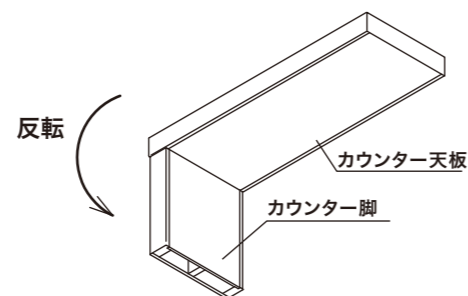


接着剤がきちんと硬化してから次の作業に進んでください。

## 3 カウンター天板および脚の反転

カウンター天板と脚をしっかり持ち、反転させてください。

反転する際に、カウンター脚と天板部に負担がかかりすぎないように充分ご注意ください。



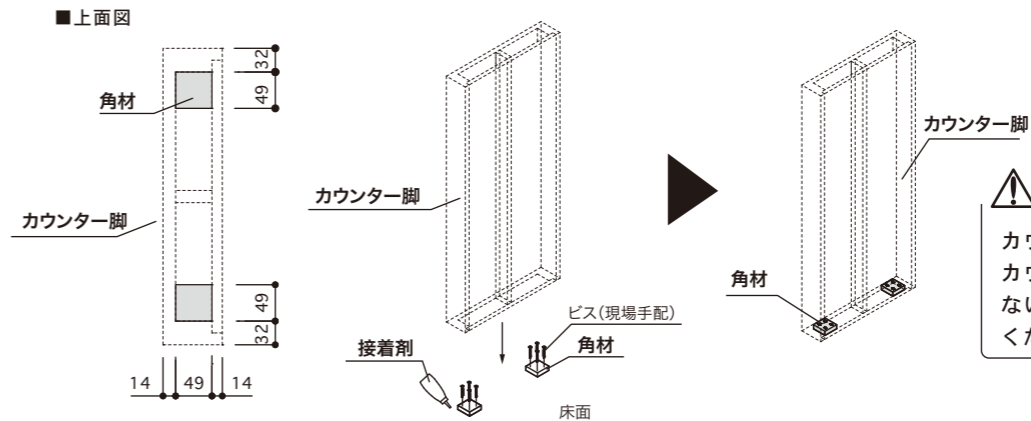
## 4 カウンター脚と床面との固定

※必ず床面への固定を行ってください。

①カウンターを固定する位置を決めてください。(下図参照)

②カウンター脚を固定する位置に、先に同梱の角材をビス(現場手配)で床に固定してください。

③床に固定した角材の木口四辺に接着剤を塗布し、カウンター脚部材をはめこんでください。

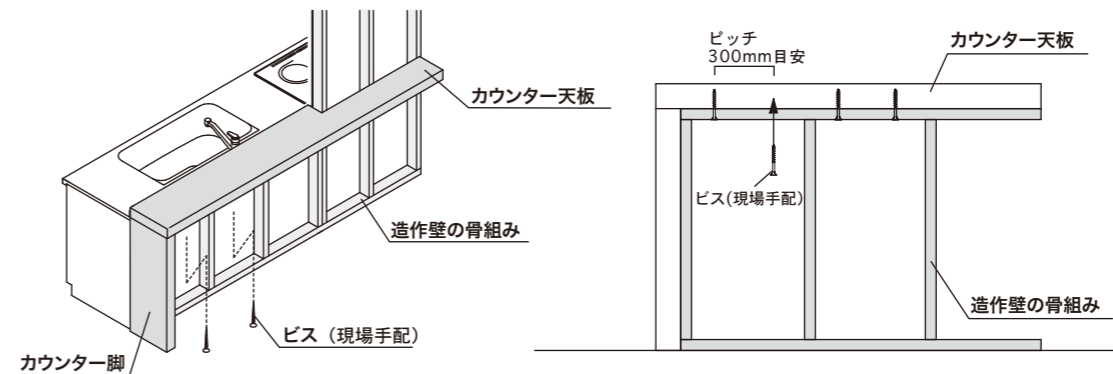


カウンターを固定位置に移動させる際、カウンター脚と天板部に負担がかかりすぎないように充分注意しながらはめ込んでください。

## 5 カウンター天板と造作壁骨組みとの固定

造作内面よりカウンター天板と脚部材をビス(現場手配)で固定してください。(300mmピッチ目安)

ビス打ちの際は、必ず化粧板に下穴を開けてからビスを打ってください。



ビスの突き抜けにご注意ください。

## 6 カウンター天板と壁面との固定

※右脚・左脚タイプで壁とボックスを離して施工する場合のみこの手順が必要です。

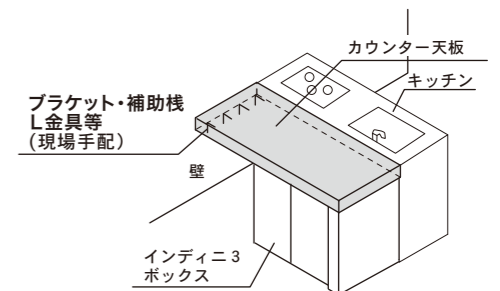
石膏ボードの場合、ゆるみが出ますのであらかじめ合板下地を準備することをおすすめします。重量がありますので、取り扱い、施工の際は充分に注意してください。

### 壁面固定の場合

壁面への固定は、ブラケット・補助棧・L金具等(現場手配)で必ず固定してください。

右図の様に、壁面に3カ所以上で固定してください。

カウンターへのビス打ちの際は、必ず化粧板に下穴をあけてからビス打ちを行なってください。カウンターに直接ビスを打ち込んだ場合、クラック割れが発生する可能性があります。



### 壁へののみ込みの場合

のみ込んだ壁面の躯体とカウンターをビス(現場手配)で充分に固定してください。

※間柱を切り欠いてのみ込ませることをおすすめします。

